

10年の間、暮らしの中で描き散らしている絵、その他です。何かしら面白がって頂ければ幸いです。

楽しかったり、楽しくなかったりしながら描いたり作ったりしてきました。

こういう紙面では、本当なら、「現実認識の「危うさ」、無意識下に、所与のものとして与えられたルール・社会規範の顕在化と問題提起を図って・・・」みたいなことを書いたほうが格好良いと思うのですが、自分を振り返ってみるに、思考の常に5割くらいは、部屋の湿気取りには何が一番有効なのか？とか、職場の飲み会の二次会をいかにスマートに逃られるものか？といった生活の命題で占められており、言葉だけステキな事を言っても、どうにも格好が付きません。

つまり、そんな小人物が作る物ですので、ほとんどは自分の楽しみのためだけの物です。それでも、何かしら、見る方の経験や感覚が偶然にもフックして、面白いとっていただけるようなことがあったら、幸甚です。(高橋 菜々)



高橋の文章：時には少しだけ悪意も混ぜ、愛情豊かに森羅万象について本音が語られているので、読んで飽きることがない。自分自身の対象化も忘れないので、風通しが良く、独りよがりになることがない。

高橋の想像力：日々増え続ける無数の物語の抽出しを持っている。一つ一つには豊かで寂しく、幻惑的で怖い世界が入っており、しかもどうやら入れ子構造になっているので、今後の展開は計り知れない。

高橋の写真：今回展示はないが、写真も素晴らしく魅力的だ。ふと人気が消え、傾く様に異界へと変貌する都市の一瞬の間合いを捉えている。

高橋の絵：その一旦ご破算になった無人世界のあちこちから、新たに続々と出現する生き物を描き続けているのだろうと私は思っている。

高橋の好奇・地場の気がかり：私も周囲から「変」と言われ続けて来たが、最近では老化、劣化が進んでいるので、今後高橋の興味の対象たり得る変人で居続けられるかどうか心許ない。

アートラボアキバ 地場賢太郎

WEB：「俗窓」 <http://zokusou.web.fc2.com/>

Twitter：zokumadoT

- 【略歴】
- 2010 クレイジーハウス (戸塚) 二人展
 - 2012 ギャラリー猫 (伊勢佐木町) 個展
 - 2015 ギャラリースナック ラバン・アシル (杉田) 個展
 - 2016 都内レンタルスペースや東急ハンズギャラリーにて、ポストカード、キーホルダーの無料配布 (ポストカード：627枚配布 キーホルダー：90ヶ配布)
 - 2016 ギャラリースナック ラバン・アシル (杉田) 二人展
 - 2016 カフェ パニアン・ツリー (戸塚)、月箱 (渋谷) 展示

